

クローズアップ  
CLOSE UP

声援響くホーム最終戦

11月5日、ザスパクサツ群馬がMAEBASHI PRIDEマッチとしてジェフユナイテッド千葉と対戦。2023シーズンホーム最終戦ということもあり、正田醤油スタジアム群馬には9,000人を超えるサポーターが集まりました。試合は、先制点を奪うも逆転のPKを献上し1対2で敗戦しました。



庁舎を彩る光のアート

10月27日から29日まで、アーツ前橋開館10周年記念展のイベント「A Horizontal Line -すべては1本の線からはじまる」を実施。アーティストや市民などが描いた作品を県庁昭和庁舎に投影しました。本記念展は2月12日(月)まで開催します。



蜷川実花(Breathing of Lives) HOWZEビル



スプツニ子!(トランスフローラ)アーツ前橋



市議会の歴史を感じて

12月28日(木)まで前橋市史と前橋市議会史に注目した企画展「未来への道標-前橋市史と前橋市議会史」を市立図書館で開催中。旧議会庁舎解体時に定礎から発見された建設時の資料や市史・市議会史関連の資料、現在までの議会庁舎の写真も展示しています。

いきいき  
まえばし人

世界パラ空手道選手権大会で  
金メダル  
今井俊浩さん・50歳  
天川大島町



周囲のつながりが後押しに

10月24日から29日までハンガリーのブダペストで開催された第5回世界パラ空手道選手権大会に出場した今井さん。8月の全日本大会で敗れた相手と世界大会の決勝戦で再戦し、勝利した今井さんが視覚障害の部で金メダルを獲得した。

今井さんが空手を始めたきっかけは、小3の頃に実家で実施された空手教室を見学したこと。そこで恩師に出会い、着実に力をつけ全国大会に出場。現在は道場を開き、館長として子どもたちの指導もしている。3歳の時に網膜色素変性症と診断された。

「人と会話する時は相手の顔を中心に円形状で胸辺りまでしか見えません。床でストレッチしている教え子を踏んでしまう時もあります」と語る。

高校卒業から30歳まで空手から離れていたが、友人に恩師の道場へ誘われた。県パラ空手の監督を務める恩師の勧めもあり、42歳で全日本パラ空手に初出場し初優勝を飾った。

「競技に戻ることはないと思っていましたが、自分より若く同じ病気で活躍する人や同年代が素晴らしい形を打つ姿を見て、負けてられないと奮起しました。障害者だから恥ずかしいではなく、きれいな形を打てない方が恥ずかしい。指導する子どもたちから刺激を受ける部分もあって、一人だったら世界大会に行くことは無理でした」と語る。今井さんの挑戦は続く。



幻の大根を復活させるため、平成21年に地元の有志が、時沢大根復活プロジェクトチームを結成。市民な

今回は時沢大根復活プロジェクトチームを紹介します。

時沢大根とは、富士見町時沢地区で古くから栽培され、江戸時代には前橋藩にも献上されていた本市の伝統野菜です。皮が薄く歯応えがあることが特徴で、たくあん漬けにするに、次第に生産量が減少していき、幻の大根と言われるようになりました。

昭和20年代には川崎市場などへ出荷されていたが、栽培に手間がかかり大量生産できないことや、養蚕に転換する農家が増えたことを理由に、次第に生産量が減少していき、幻の大根と言われるようになりました。



channel 17  
時沢大根復活プロジェクトチーム

農政課  
027-898-5841



代表の奈良 清さん

どを対象に栽培体験とたくあん漬けを実施するなど、多くの人に知ってもらうため活動しています。



「目標は時沢大根の復活です。自分たちの年代なら、親が作ってくれた自然なたくあんを知っています。若者にもそれを知ってもらいたいです。良い大根ができるよう手をかけていきます」と語る代表の奈良清さん。

熱心に活動を続けてきた結果、現在では伊香保温泉の旅館や県内量販店にも出荷し、目標達成に向けて着々と前に進んでいます。

そんな中、高齢化などの理由で結成当時のメンバーが引退。人手が足りないため、活動に協力してくれる人を募集しています。興味がある人は富士見商工会内事務局(☎027・288・2593)へ問い合わせてください。